



祝 卒業  
同窓会入会記念号

令和5年2月27日  
(2023年)

編集・発行  
島田高校同窓会

〒427-0038  
島田市稲荷 1-7-1 修己館内

～同窓会事務局～  
TEL/FAX 0547-21-1145  
メールアドレス  
kawanami@ab.thn.ne.jp

～学校事務室～  
TEL 0547-37-2188  
FAX 0547-35-1744

同窓生 23,447 名  
75回生 156 名

## 選んだ道を究めよう



同窓会長

大久保 節夫

(21回生)

静岡県立島田高校卒業生の皆さん、  
ご卒業おめでとうございます。心より  
お喜び申し上げます。まだ寒い日が続  
きますが、間もなく新しい門出に相応  
しい春が訪れると思います。長い人生  
の3年間という一瞬に、見違えるよう  
に立派に成長されたと思います。

今年にはコロナウイルス感染症が確認  
されて4年目に入りますが、未だに終  
息の気配もなく、いろんな分野に甚大  
な被害・影響を及ぼしております。誰  
も想定出来ない現実であります。皆さ  
んは入学以来ずっと、この「コロナと  
共に」の学生生活だったと思います。  
その中で、過去にない多くの事を学び、

新しい時代に向け準備をされたと思  
います。過去の価値観、生活様式・社会  
システムが大きく変化しデジタル・リ  
モート等を中心とした社会に変化して  
います。そして今後益々変化を続けて  
行くと思われれます。

多様化した非常に選択肢の多い時代  
を迎えているかと思えます。それだけ  
便利な社会の中で、皆さんはこれから  
自分の人生を切り拓いて行くと思いま  
す。大切な事は「何を選択して進むか」  
と言う事です。どの道を選択するの  
か、しっかり考えて決めて行って頂きたい  
と思えます。そして選んだ道を簡単に  
諦めずに粘り強く継続して行く事を望  
みます。その道を究めながら多くの人  
達と出会い、誠実に関わりながら人間  
性を豊かにし、一人の人間として立派  
に成長されて行くことを期待していま  
す。最後に、卒業生全員が加入してい  
る「島田高校同窓会」への入会有難う  
御座います。これからは先輩・後輩の  
中でお互いに頑張って行きましょう。

## 川波賞受賞者

五十嵐 陽 (32HR)

全国高校総体 スキー競技大会出場  
(令和2年度)

国民体育大会 スキー競技出場  
(令和3年度)

北村 陽奈 (33HR)

第69回NHK杯全国放送コンテスト  
朗読の部 全国大会出場  
(令和4年度)

## 川波賞

島高在学三年間に、学業・  
部活動・学校教育活動に  
おいて優れた功績のあった  
生徒に対し、その活動を讃  
え、卒業時に賞状の授与と  
記念品を贈呈。

(学校創立90周年を機に創設)

## 同窓会の活動と主な行事

主な活動は以下の通りですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、行事の開催は流動的で、日程は確定しておりません。

### 定期総会開催

毎年8月に定期総会を開催しています。同窓生となった皆さん、ぜひ出席してください。

### 「島高同窓生の集い」開催

総会終了後、10年ごとの同窓生一同が集まります。同窓生なら誰でも大歓迎です。是非ご参加ください。

### 「六月祭」の参加

各界で活躍する卒業生の紹介や、写真展など、毎年工夫を凝らして参加しています。

### 同窓会報「川波だより」発行

同窓会活動の報告、恩師や同窓生の近況、女学校時代の元気な大先輩の生き方、また島田高校の様子など、興味深い記事が満載です。ホームページで閲覧できます。

### 在校生支援

充実した学校生活の支援のため、部活動奨励金や奨学金の給付を行なっています。



同窓会ホームページ

## 75回生の学年委員さん

- 31HR 山本 瑠樹 北嶋 ころも
  - 32HR 佐塚 奏汰 諏訪 成美
  - 33HR 八木 英樹 大石 杏
  - 34HR 矢壺 海輝 杉山 寧音
  - 35HR 小柳 俊輔 松本 麻里弥
  - 36HR 西澤 翼 大石 結生
- よろしくお願ひします!



### 先輩からのメッセージ

同窓生講話 講師

濱田 和彦 (22回生)



田合いを大切に』

という内容を 纏を大切に』 能力は伸びるもの』 何くさんの体験を』 という視点で話をさせていただきました。

人生には選択を迫られる時がいくつもあります。時には自分の希望しない選択を強いられる時があります。しかし、どんな選択をしてもその選択を正解にする努力が大切だと思います。努力があれば皆さんの能力は伸び、可能性も大きく広がります。

新たな挑戦や困難に立ち向うために努力する時、支えてくれる人との縁は、自分にとって大きな財産です。この財産は、他力本願で得ることは難しく、求められるのは本人の誠実さであり、自分の強みを生かして相手のために貢献しようとする姿勢だと思えます。

また、多様な体験は人生を豊かにします。知らない世界を知ること、新たな視点を持つことであり、新たな楽しさを知ることです。体験したことは、自分の強みにもなり、必ずどこかで役に立つものです。

結びに、人生は長いものです。一度や二度の失敗で人生が決まるものではありません。失敗を乗り越える体験が人生の財産になります。若い皆さんには、失敗を恐れず挑戦する姿勢を持ち続けてほしいと願っています。

同窓会理事 中澤正流 (24回生)

「卒業おめでとう」ございます。

私は今年で古稀を迎えます。人生100年時代残り30年余りどの様に生きていくか、今回このような形で、同窓会から卒業する後輩への言葉を書いて欲しいと依頼を受け、皆さんに贈る言葉を考えている時、同時に自分の今迄を振り返るいい機会を頂いたと思っております。皆さんの高校生活はコロナで始まり今もってコロナ禍です。私の50年以上も前の高校生活を思うに、皆さんに比べ如何に楽だったかと思ってしまう事です。今、卒業生の皆さんに確実に言えることは、皆さんは後70年近い人生があるという事実です。現在、世界はグローバル化し確実にデジタル世界が実現するものと思えます。望めば世界で活躍出来る社会の実現です。私が進ってきた道もその時代時代の社会があり、その中で一生懸命生きてきました。今振り返ると、あの時こうすれば良かったのかと後悔が無い訳ではありません。しかし、今を後悔はしないつもりです。皆さんもこれから様々な選択を迫られることでしょうか。大変な時代だからこそコロナ禍で学んだ体験を大いに活かし前向きに進んで下さい。皆さんならいつでも思った時に方向転換可能です。するかしないかは勇気と決断です。島高卒業生として大いに広い世界で頑張ってください。

この頃、私の好きな言葉は「学び直し(リカレント)」です。島高在学中勉強しなかつた分、これからリカレントしていき

たいと思っています。今後の活躍を期待しています。



同窓会理事 櫻庭省一 (35回生)

「卒業おめでとう」ございます。

今年度もコロナ下の元、少しは緩和されたとはいえ、高校3年間不自由な学生生活を送ることになって大変でした。自分は卒業後、情報工学を学びコンピュータ関連の仕事をしてきて、ずっとマイクロソフトの製品を使っています。マイクロソフトの副社長に日本人がいたことを知っていましたか。西和彦という方ですが、その人がすくくて、大学3年の時にASCIIという雑誌の出版社を作り、マイクロソフトがBASICというプログラミング言語を開発したことを知ると、自分の思いを伝えるために、ビル・ゲイツにいきなり直電したそうです。電話番号も知らないのに。

のちに発売される日本初の8ビットパソコン「PC-8001」に、皆さんの提案でマイクロソフトのBASICが採用され、当時として爆発的に売れました。



その西さんが「反省記」という本で、こんなことを書いています。

「結局、僕にできることは、僕のやりたいことに熱中」することしかない。そして、そういう仕事があることに感謝することしかない。

ただ、やりたいことに熱中することなくして、成功「することは100%ないとは言えるのではないか。きつと女神は、そういう人間の中心から、気まぐれに「成功者」を選んでくれるのだらう。

つまり、成功する方法は誰にもわからないが、人生において熱中「できるものがある人は、たとえ成功しなくても、幸せであるとは言えるのではないだろうか。」

これから皆さんは高校を卒業して、いろんな分野へ飛び出すことでしょう。そんな中で西さんがおっしゃるように、「とんとん専門分野の勉強や仕事に熱中してみてください。女神がほほ笑みますように。」



同窓会校内理事 出口規弘 (36回生)

卒業おめでとう」ございます。皆さんと一緒に島田高校に赴任し、これまで学校生活を共にしてきました。思えば皆さんは、新型コロナウイルスの影響をもろに受けた学年でした。翻弄されたと言っても過言ではないと思います。期待に満たないはずの高校生活はいきなり休校で始まり、修学旅行先や行事の変更や中止、生活全般に及ぶ感染予防対策、気が付けば、私はマスク生活のおかげで皆さんの顔をよく把握できていません。

そのような中でも、持ち前の明るさを失わず、それぞれの課題に真剣にかつ真摯に取り組む姿には一種の心強さも感じました。これまでは卒業を控えた生徒に対してよく頑張りましたなどの「上から」の思いがありました。心強さ」は島田高校に赴任する前には気が付かなかつた感情です。やはり「生徒」という見方と同時に「後輩・同窓」という見方があるのだと思えます。

皆さんを取り巻く環境(世界)は、私たちが体験した環境(世界)とは大きく変わってしまいました。皆さんが進む道の先には誰も経験していない、前例の通用しない、でも見方を変えれば未知ではあるけれど可能性(伸びしろ)に満ちた世界が待っていると云えます。「逆境」を乗り越えてきた自分を信じて努力を忘れず、友情を大切にして、明るい希望に満ちた人生を送ってください。